

# 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統） 更新工事（その2）

電気設備		建築	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
E-00	表紙・図面リスト		
E-01	電気設備 特記仕様書（1）	A-01	特記仕様書
E-02	電気設備 特記仕様書（2）	A-02	新設部分 配置平面図・断面詳細図
E-03	受変電設備 単線結線図（更新）	A-03	新設部分 部分詳細図
E-04	受変電設備 単線結線図・参考姿図（更新）	A-04	既設部分 撤去詳細図
E-05	幹線設備 系統図（改修）	A-05	道路部分 アスファルト撤去・改修図
E-06	幹線リスト（改修）	A-06	構造部分詳細図
E-07	幹線設備 平面図（改修）		
E-08	更新低圧幹線 経路図（1）		
E-09	更新低圧幹線 経路図（2）		
E-10	受変電設備 単線結線図（撤去）		
E-11	受変電設備 単線結線図・参考姿図（撤去）		
E-12	幹線設備 系統図（撤去）		
E-13	幹線設備 平面図（撤去）		
E-14	標準施工図（1）		
E-15	標準施工図（2）		

## 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

工 事 名 称 大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）

## I. 工事概要

1. 工事場所 大阪府箕面市粟生間谷 地内

2. 図面枚数 全 16 枚 (表紙共)

### 3. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 [㎡] *	消防法令別表第一	備 考

\* 延べ面積は、建築基準法施行令第2条四による。

4. 延焼線の有無 (○ 有 ○ 無)

5. 工事種目・科目（●印を適用し各一式とする。なお、必要により科目をさらに中科目に分類する。）

建物名等（種目）	屋 外					
設備概要（科目）						
● 高圧引込設備	●			○		
○ 低圧配線設備	○			○		
○ 弱電配線設備	○			○		
● 受変電設備	●	○	○	○	○	○
○ 発電設備		○	○	○	○	○
● 幹線設備	●	○	○	○	○	○
○ 動力設備		○	○	○	○	○
○ 電灯・コンセント設備		○	○	○	○	○
○ 構内交換設備		○	○	○	○	○
○ 拡声設備		○	○	○	○	○
○ 情報表示設備		○	○	○	○	○
○ 誘導支援設備		○	○	○	○	○
○ ｒ/ｂ 共同受信設備		○	○	○	○	○
● 構内情報通信網設備	●	○	○	○	○	○
○ 自動火災報知設備		○	○	○	○	○
○ 防犯設備		○	○	○	○	○
○ 監視カメラ設備		○	○	○	○	○
● 雷保護設備	●	○	○	○	○	○
○ 医療関係設備		○	○	○	○	○

6. 工事内容（下記の内容には、各種機器の取り付け、結線及び試験調整も含む。）

[illegible]

工事種目	工事内容

Ⅱ. 工 事 仕 様 (本工事に機械設備工事、建築工事等を含む場合、その仕様書は当該図面による。)

1. 標準仕様書等（平成31年版とする）

(1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁庁舎部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工編）（以下、「標準仕様書」という。）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工編）（以下、「改修標準仕様書」という。）、公共建築設備工事標準図（電気設備工編）（以下、「標準図」という。）による。

(2) 本工事は経済産業省「電気設備に関する技術基準を定める省令」並びに一般社団法人日本電気協会発行「内線規程」のほか、関連法規に基づき施工すること。

2. 特記仕様

(1) 本工事の作業時間や休日、工事施工上の留意事項及び遵守事項、火災保険等の要否等については、本工事の補足説明書によるものとする。

(2) 本仕様は、●印が付いたものを本工事に適用する。●が付かない場合は、※を適用する。

(3) 本工事に含む機械設備工事並びに建築工事の施工業者は、原則として令和2年度の大府府建設工事指名競

（４）一般共通事項

項 目	特 記 事 項

設計図書等の優先順位

すべての設計図書、配布図書等は相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合の優先順位は以下とする。

(1) 質問図書書 (2) 補足説明書及び追加配布文書 (3) 本特記仕様書

(4) 図面 (5) 標準施工内容 (6) 標準仕様書、改修標準仕様書及び標準図

また、設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の収まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は都合な場合が生じたときは、監督職員と協議すること。

設計図書は、原則、令和2年度大阪府住宅まちづくり部公共建築室監修機材工機材製造者指定一覽表及び一般社団法人公共建築室の設備機材等評価表を満による。同表にない機材は、標準仕様書及び改修標準仕様書による仕様書を満す製造者とする。

なお、図中の製造者標準品とは当該指定製造者が製作する既製品をいう。

● 環境への配慮

「国等」による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（通称「グリーン購入法」）及び「大阪府グリーン調達方針（最新版）」による特定調物品材については、「グリーン購入法適合品」とする。

● グリーン購入法

グリーン購入法適合品の証明を監督職員に提出すること。

○ 変圧器 ○ 照明器具 ○ 照度センサー等

● 主任技術者等

契約書に規定する主任技術者又は監理技術者は、その資格を証明する資料を監督職員に提出して、承認を受けること。

● 電気保安技術者

○ 電気保安技術者は、大阪府住宅まちづくり部制定の保安規程第5条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、工事中間の電気工作物の保安業務を行うものとする。

● 当該建築物の自家用電気工作物保安規程により電気主任技術者の指揮に仰るとともに、電気保安技術者は、電気工作物に関する工事施工中の保安業務を行うものとする。

● 工事用仮設物・資機材置場

構内にあることが ● できる(位置は現場にて協議) ● できない

○ 監督職員事務所

※ 別途工事

○ 不要

○ 要(○1号:10m2 ○2号:20m2 ○3号:35m2 ※既存建築物の一部を利用する)

仕上げは下表を標準とする。

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内床・天井	合板又は石膏ボード張り、合成樹脂(メタル)ペイント
屋根	塗装溶融鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板ペイント
休憩室	敷敷き

備品 ● ○要 ○不要

監督職員事務所には監督職員の指示により、電灯、給排水その他の設備を設ける。

なお、設置する備品等は以下のものを標準とする。(別契約工事の監督職員分を含む)

電話・文書機、ワード・排時計・差配計・会議机、折れたた椅子、応接セット

机及びひしや、複写機、パソコン(アール・契約含む)、ファクシマ、デジタル

※レ、文房具、ゴム長靴、雨かっぱ、防塵機、懐中電灯、塵落制用器具、流し台、スポンジ、湯沸器、衣箱、消火器、掃除機、冷蔵庫、石油ストーブ ※3号以上の監督員事務所

● 工事用電力・水・ガス等

本工事に必要な工事用電力・水・ガス等の費用、それらに関する官公署への諸手続き及び費用については、すべて受注者の負担とする。なお、工事用電力・水・ガス等は、試運転・検査も含めて、工事完成引渡しまで受注者に負担すること。

● 検査に要する費用

検査に要する費用は受注者の負担とする。

● 建設機械

低価格型又は排出ガス対策型の機械を使用すること。

● 官公署その他への届出手続等

本工事に必要な官公署その他への手続きは、標準仕様書第1編1.3及び改修標準仕様書第1編1.3.1によること。また手数料等費用は全て受注者の負担とする。

● 建設副産物の処理

建設副産物の処理は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「建設副産物適正処理推進要綱」「建設・リサイクルマニュアル(大阪府住宅まちづくり部公共建築室)」その他関係法令等遵守して行うこと。なお、処理方法については、補足説明書等による。

● 分別解体等

工事1作に開始前に主たる設計資料関係者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し、種類ごとに選別等を行い、リサイクル等再資源化に努めること。

● 建設発生物の処理

● 指定指定地処分(指定地処分場所は補足説明書による)

○ 構内指定の場所に堆積 ○ 構内指定の場所に敷きならし(化学分析調査)

○ 要(分析箇所は( )箇所) ● 不要

試料採取位置は、監督職員の指示によること。試験項目は標準施工図による。

● 試料方法、報告等は補足説明書による。

○ PGB含有機器の取扱い

本工事において撤去する機器については、事前にPGB含有の有無を全数調査のうえ、監督職員に報告すること。

また、変圧器及びコンデンサなど変電機器については、PGB含有の有無を専門機関にて

○ 本工事に分析(対象機器は図示による。報告書作成を含む) ○ 分析済

分析の結果PGBの検出が認められなかった場合は、関連法規に従って当該機器を撤去すること。

さらに、PGB含有が判明した場合、当該機器

○ 現場場所へ保管 ○ 構内の指定場所へ移送 ○ 構外搬出のうえ指定場所へ移送

する。移送及び保管にあたっては、監督官庁が作成するマニュアル等に従うこととし、必要となる資機材等の費用は受注者の負担とする。

搬去前に内容物の回収を要する機器等

● 廃油（特別管理産業廃棄物）の回収  
○ 水銀（水銀使用製品）の回収（産業廃棄物）  
○ 図示による

○ 足場

○ 内部足場等  
※ A種：脚立式足場    B種：移動式足場（Oリング付）    C種：移動式昇降足場  
○ D種：高所作業車    E種：単管足場 又は F種：くさび緊結式足場 又は G種：枠組足場  
○ 外郭足場等  
※ A種：枠組足場 又は B種：くさび緊結式足場 又は C種：単管足場  
○ D種：仮設ゴンドラ    E種：移動式足場    F種：高所作業車

● 交通誘導員

施工期間中、営業者者の警備員（営業者法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導業務に従事するものを延べ 3 人・日計する。

○ 化学物質を発散する建築材料等の使用制限

本工事の建築物内部に使用する機材等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の（１）～（４）を満たすものとする。  
（１）合板、木質系フローリング、構造用木材、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、UV樹脂地板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、77t77g/g'd'及びf'nを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、下記の「84t77g'd'」の放散量の区分に応じた材料を使用する。  
（２）接着剤及び塗料は、f'n、f'n'及びf'n''の含有量が少ない材料を使用する。  
（３）接着材は可塑剤（77t77g'-n-p'及び77t77g'-z-2-f'n's4等）を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。  
（４）（１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、84t77g'd'、77t77g'd'及びf'nを含有しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。  
なお（１）における「84t77g'd'」の放散量は、次のとおりとする。  
  
規制対象外  
① 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散  
② 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料第三種  
③ 建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料  
④ 建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

○ 化学物質の濃度測定

※測定しない    ○ 測定する  
  
測定室：内装工事を行った室のうち、特記した室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告すること。  
なお、特記なき場合は、全室測定すること。  
  
測定箇所数：対象室の床面積（A㎡）に対して、以下の箇所数以上とする。

室の床面積（㎡）	A ≤ 50	50 < A ≤ 200	200 < A ≤ 500	500 < A
測定箇所数	1	2	3	4

  
測定対象化学物質  
（一般施設・住宅）：ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校）：上記＋パラジクロロベンゼン  
  
空気採取方法： ※拡散方式（パッシブ型採取機器）    ○吸引方式  
測定要領等：室内空气中化学物質の濃度測定要領（大阪府住宅まちづくり部公共建築室）による。

○ 風圧力に対する性能

建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力（耐風力）検査書（計算書）を監督職員に提出すること。なお、検討（計算）範囲にはそれ以外の取付け部分を含めるとする。

● 工事写真

完成後、外部から見えない主要な部分及び各工事の施工段階の工事写真（カラー写真、サービスサイズ以上）を提出する。（国土交通省大田官庁舎整備部監修「設備工事写真撮影要領（平成28年版）」及び「工事写真撮影ガイドブック 電気設備工編（平成30年版）」による。）但し、デジタルカメラで撮影した場合は、サービスサイズ以上でアルバム整理したものを出すとすること。

● 完成時の提出図書

1. 完成図は以下の内容及び部数を作成し監督職員に提出する。

完成図	形式	部数	備考
● 完成製本	二つ折（A1）	3	
● 完成製本	二つ折（A3）	3	隔面複写紙（白写真）

  
2. 保全に関する資料は以下の内容及び部数を作成し監督職員に提出する。

保全に関する資料		形式	部数	備考
● 機器仕様図・取扱説明書	左折（A4）	1	1	最厚紙のバイプファイルにインデックス綴りとする。
● 試験成績書	左折（A4）	1	1	
● 官公署届出書類	左折（A4）	1	1	

  
3. 以下の電子データを作成し、C-D-Rに保存し監督職員に3部提出する。

電子データ		保	存	形	式
● CADデータ*	Cad形式、DXF及びPDF形式（A1出力）				
● 主要機器図	PDF形式				
● 試験成績書	PDF形式				
○ 施設保安資料（施設カルテ）	MS-Excel形式				
● 再生資源利用促進実施書	CORRIにより作成				
● 施体系図	PDF形式				
● 官公署届出書類	Cad形式、PDF形式（押印提出分）				
● 写真	JPEG、PDF形式等				

  
\*CADデータは、完成図及び施工図について提出すること。

● 引渡し及び管理責任

1. 完成検査に合格したときは、書類を添えて引渡しを行うこと。  
なお、工事完成後引渡しまでは、受注者において管理上の責任をもつこと。  
2. 引渡し物品一式を、監督職員の指示により所定の場所に整理し、物品引渡書を添えて施設管理者に引渡すこと。なお、個別計量器がある場合は最終検取リ値を一覧表にして、監督職員に提出すること。  
3. 引渡し物品については、下記のとおりとする（●印については適用する）。

品名	数量
● 鍵（各種）	各種3個
● 電気室保守工具及び工具箱	
○ フック棒（大及び小各1本）	
● 換電機（高圧用及び低圧用各1）及びネスター	1式
● 配電室内等のヒューズ（種別毎に現用数の20％程度）	
○ その他他使用保守工具セット一式	
● 各種機器付属品及び予備品	1式
● ハンドホール開口用フッカー（2個）	1組

○ 再使用機器

取り外した再使用する機器は、洗剤を使用するなど十分に清掃を行うこと。  
なお、照明器具等は、絶縁抵抗を測定のうえ取り付けること。

● 電線管等

合成樹脂製と水管（以下「P-F管」という）は単層タイプとする。  
最上層のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。  
金属管・プルボックス及び支持材は塗装を行うこと。ただし、配電室等、共同溝内の金属管、プルボックス及び支持材の塗装は不要とする。

●呼び壁

長さ1m以上の入らない管路は、屋内は1、6mm以下のビニル被覆鉄線を、屋外はⅠV2、0mmを挿入する。

○特許形コンセント

20A以上、3P・4P及び特許形のコンセントは、差込プラグ付とする。(ファンコイル用コンセントは除く)

○壁塗装色

室内受電室・機械室・パイプシャフト内等に取り付けられる制御盤・分電盤等の仕上げ塗装色は、  
○メーカー標準色 ○現場指定色

●図記号

特記なき図記号(文字記号等も含む)の凡例は、標準図による。

●寸法

壁その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。

●はつり

既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。  
なお、旧建はモルタル補修とする。

○あと施工アンカー確認試験

性能確認試験 ○行う ※行わない  
施工後確認試験 ○行う ○行わない  
・性能確認試験による 試験方法は、国土交通省大臣官庁官房官営構部監修の建築工事監理指針(下巻)(平成28年度)「8.12.5性能確認試験」による。  
・施工後確認試験は、国土交通省大臣官庁官房官営構部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成31年版)「8.12.7施工確認試験」による。

○非破壊検査

・既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけ等はつり工事を行う箇所については、  
○放射線透過検査を行う  
測定を行う壁厚は、○200mm以下 ○250mm以下  
測定を行う箇所は、図示による。  
○簡易探査(壁厚150mm以下、50φ以下)を行う  
測定を行う箇所及び方法は、図示による。  
・放射線透過検査を行う場合は、改修標準仕様書第1編2.11.2)による。

○耐震性能の確認

a. 耐震措置の算定及び施工方法について、標準仕様書、標準図及び図面に記載なきものは、独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針(2014年版)」による。  
b. 下記の設計用水平震度及び鉛直震度により、据付ボルト・アンカーボルトなどの耐震性能を確認し、監督機関への承認を受ける。  
① 設計用水平震度(水槽類には、オイルタンクを含む)

設置場所	機器種別	○特定の施設		○一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋上・塔屋	機 器	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機 器	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

○ 配管・配線	耐震クラス	(特定の施設)	(一般の施設)	
		Sクラス	Aクラス	
(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。				
重要機器、重要水槽とは次に示すものをいう。				
○ 配電盤 ○ 直流電源装置 ○ 非常用発電装置 ○ オイルタンク ○ 交換機				
○ 電算用電源 ○ 中央監視装置 ○ UPS装置 ○ 防災機器				
ロ) 鉛直震度は、水平震度の1/2とする。				
ハ) 上層階、中間階等の取り扱いは、以下とする。				
＊建築物の構造体がRC、SRC、S造のものに適用する。				
＊上層階、中間階の定義は次のとおりとする。				
	2～6階建	7～9階建	10～12階建	13階建以上
上層階	最上階	上層2階	上層3階	上層4階
中間階	地下階、1階を除く各階	2上層階に該当しない階		

設置場所の区分は機器を支えている床部分にしたがって適用する。床または壁に支持される機器は当該階を適用し、天井面より支持(上層床より支持)される機器は支持床材取付床の階(当該階の上層)を適用する。

(5) 他工事との取合い区分  $\left\{ \begin{array}{l} \text{取合い区分欄は、原則(※)印の区分とする。ただし、(●：黒丸塗)が} \\ \text{ある場合にはその区分とする。} \end{array} \right.$

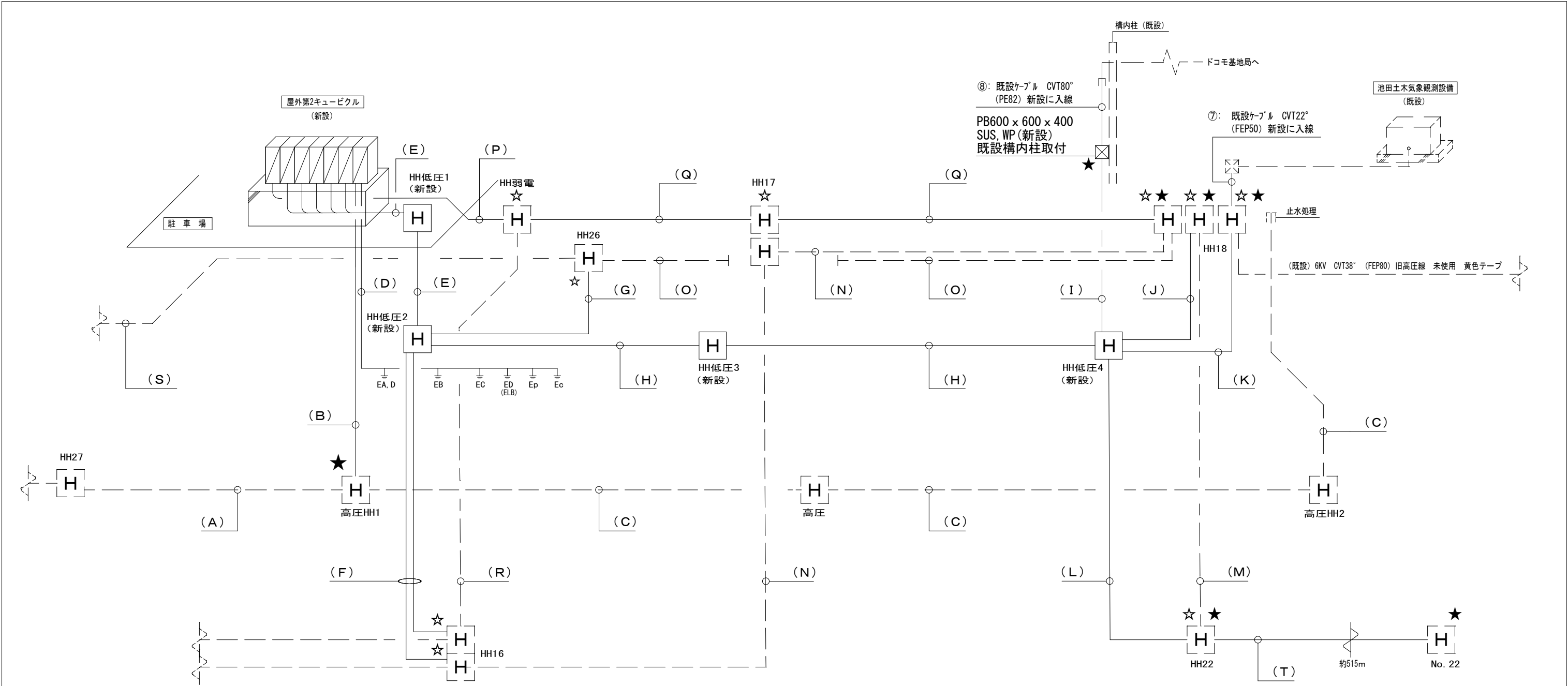
(6) 設備科目別仕様

種目	項 目	特 記 事 項														
高 圧 引 込 設 備	●電気方式	●三相3線式 ●6kV														
	●施工方法	●地中埋設（管路式）○ライニング鋼管 ●液付硬質ポリエチレン管 ● その他 埋設深さ（図示による） ○ 架空線 電柱（通心力プレストレストコンクリートポール） 支線（特記なきは垂絡めつき鋼より線）														
	●電線	地中線で特記ないものは ●EM-CET ○EM-CE 架空線で特記ないものは ○OE ○OC 構造・寸法は（ ●標準施工図 ●図示 ）による。 蓋の記号表示は（ ● 標準施工図 ●図示 ）による。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は接地を省略してもよい。 ケーブル支持材を設ける。														
	●余長	高圧ケーブルは引込口及び引出口又は最寄りのハンドホール内等で約3mの余長をとる。														
	○区分開閉器	高圧負荷開閉器 7.2kV 300A 用途 ○ 架空引込用 ○ 地中引込用 構造 ○ 耐中塩じん用 ○ 耐重塩じん用 形式 ○ 引外し装置付（SOG形） ○ 引外し装置なし ○ 避雷器内蔵 ○ 制御電源用受圧器内蔵														
	○がいし・高圧ケーブル 端末処理	○一般用 ○ 耐塩用 ○ 重耐塩用														
	○避雷器	○屋外形 ○ 耐塩形														
	○装柱材	○一般用 ○ 耐塩形														
	●電気方式	●三相3線式 ●440V ○単相3線式 100/200V ○単相2線式 100V ○200V														
	●施工方法	● 地中埋設（管路式） ○ライニング鋼管 ●液付硬質ポリエチレン管 ● その他 埋設深さ 特記なきはGL-300以上（道路下部は-600以上）とする。 地中埋設構造シートを ● 設ける ○ 設けない														
幹 線 設 備	●電線	地中線で特記ないものは ●CVT ●CV ○EM-EFF 架空線で特記ないものは ○OW○DV 高圧引込設備に準ずる。														
	●余長	低圧ケーブルは引込口及び引出口又は最寄りのハンドホール内等で約3mの余長をとる。														
弱 電 配 線 設 備	●施工方法	● 地中埋設（管路式） ○ライニング鋼管 ●液付硬質ポリエチレン管 ● その他 埋設深さ 特記なきはGL-300以上（道路下部は-600以上）とする。 地中埋設構造シートを ● 設ける ○ 設けない														
	●電線	●OPEVS ○EM-FOPEE ●その他 構造・寸法は（ ●標準仕様書 ●図示 ）による。 蓋の記号表示は（ ●標準仕様書 ●図示 ）による。 ケーブル支持材を設ける。														
屋 外 照 明 設 備	○電気方式	○単相2線式 ○単相3線式 100V ○200V														
	○施工方法等	低圧配線設備に準ずる														
受 電 変 電 設 備	○接地極	接地棒（鋼10Φ×1000L以上）														
	●変圧器	変圧器は次の●印の規格に適合するものとする。 <table><tr><th>種 別</th><th>相 別</th><th></th></tr><tr><td>●油入変圧器</td><td>単 相</td><td>●JIS C 4304:2013 ○その他（ ）</td></tr><tr><td></td><td>三 相</td><td></td></tr><tr><td>○絶縁式変圧器 （絶縁種別 F）</td><td>単 相</td><td>○JIS C 4306:2013 ○その他（ ）</td></tr><tr><td></td><td>三 相</td><td></td></tr></table> ○ケースなし ○ケースあり ○ガス入り ○ダイヤル温度計	種 別	相 別		●油入変圧器	単 相	●JIS C 4304:2013 ○その他（ ）		三 相		○絶縁式変圧器 （絶縁種別 F）	単 相	○JIS C 4306:2013 ○その他（ ）		三 相
種 別	相 別															
●油入変圧器	単 相	●JIS C 4304:2013 ○その他（ ）														
	三 相															
○絶縁式変圧器 （絶縁種別 F）	単 相	○JIS C 4306:2013 ○その他（ ）														
	三 相															
変 電 設 備	●電気方式	高圧三相3線式 6kV 60Hz 低圧三相3線式 440V 単相3線式 100/200V														
	●主遮断装置	●限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF・S）（LBS） ○高圧交流遮断器（○盤取付形 ○引出形）JIS4603 高圧交流遮断器 定格遮断電流 12.5kA以上														
変 電 設 備	●設備容量	● 175kVA（1φ5kVA×1台、20kVA×1台、3φ50kVA×1台、100kVA×1台） ○高圧電動機容量 KVA×台														
	●進相コンデンサ 及び直列リアクトル	●高圧側設置 ○低圧側設置 自動力率制御 ●不要 ○要 三相 24.0kVar×2台 高調波対策 ●有（直流リアクトル6%）○無														
変 電 設 備	●配電盤	○屋外形 ●屋外形 ●キュービクル式配電盤 ○高圧閉鎖配電盤 ○変圧器盤 ○自立表面開放形配電盤 ○低圧閉鎖配電盤 ○開放形配電盤 ○コンデンサ盤 内部照明用（LED）は、盤前後の扉ごとに設ける。 ○JEM 1425 形														
	●監視方式	監 視 ●警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視 操作制御 ●現場盤による手動操作 ○中央監視盤による遠方操作														
電 設 備	○操作電源	○非常用照明器具の電源と共用 ○受変電設備専用 ○HS形鉛蓄電池 ○CS形鉛蓄電池 ○MSE型制御弁式鉛蓄電池 ○長寿命MSE型制御弁式鉛蓄電池蓄電池 ○据置型ニッケル水素電池 ○シール型ニッケル水素電池 ※長寿命MSE型は、JIS C 8704-2-1、8704-2-2 による。 ○電圧及び容量 直流 100V ○24V ○48V ○ AH(10Hr) 交流 100V ○200V														
	●基礎	●本工事 ○別途 ○既設 ○下記による ●図示による コンクリート工事は、標準仕様書による。幅は、上記面数（増設分の明記ある場合は、増設部分を含む）に相当する寸法プラス両端200mmとし、奥行きは壁寸法プラス前後200mmとする。屋外形の高さは、GL下150mm・GL上200mmとし、屋内部の場合、高さ100mmとする。 鉄筋は、13φ又はD13とし、タテ・ヨコφ300mm上下筋とする。なお、屋外形の架石厚は、100mmとする。														
電 設 備	●屋内換気扇	電源は所内用より供給し、公称羽根径は300φ（鋼製）・サーモスタット（5～40℃可変型とし3.5℃にセット）及び切替スイッチ（自動・手動・断）を設ける。 屋内形配電盤の場合は外部換気扇と連動させる。														
	○屋内ヒーター	屋内ヒーター及び開スイッチ														
電 設 備	●その他	●低圧配電盤の配線用遮断器は取付板組込で埋込形とする。（直流配電盤を含む） ●低圧配電盤の表面に負荷制引き出し用端子を設ける。（直流配電盤を含む） ●低圧配電盤に内部点検用スペースを設ける。（幅800mm以上 高さ1,900mm以上） ●主遮断装置・変圧器・低圧主回路導体にそれぞれサーモラベルを貼付する。 ○充電表示器は、断路器の一次側の適切な場所に設ける。														

種目	項 目	特 記 事 項											
発 電 設 備	○形式	○キュービクル式 ○簡易形 ○オープン式 ○防音パッケージ形											
	○連続運転可能時間	○10時間 ○72時間											
	○発電機	電気方式 三相3線式 60Hz 電圧 V 定格出力 KVA以上 効率 0.8以上											
	○原動機	種 類 ○ディーゼル機関 ○ガスタービン ○ガスエンジン 定格出力 PS（ KW）以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 冷却方式（ディーゼル機関） ○ラジエーター式 ○水循環式（地下式）											
	○燃料	種 類 ○A重油 ○灯油 ○軽油 ○燃料小出槽 ○主燃料槽											
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視											
	○配電盤	○発電機搭載形 ○キュービクル形											
	○その他	防災電源専用及び防災電源兼用となる発電装置は、関係法令に適合したものとする。											
	○電気方式	○電灯 ○単相2線式 100V ○200V ○単相3線式 100/200V ○直流2線式 100V ○動力 ○三相3線式 ○200V											
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線（PF）											
幹 線 設 備	○電気方式	三相3線式 200V											
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線（PF）											
	○制御盤	単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 また、動力盤主回路の導体には、サーモラベルを貼付すること。 ○警報盤による代表監視 ○中央監視盤による監視											
	○監視方法	自動火災報知受信機、連動制御器及びガス漏れ警報機と連動して、空調機を停止させる。											
	○インターロック	電動機などへの接続は本工事とする。接続方法は図示による。											
	○機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。接続方法は図示による。											
	○電気方式	○単相2線式 100V ○200V ○直流2線式 100V											
	○施工方法	○金属管配線 ○ケーブル配線 ○合成樹脂管配線（PF）											
	○位置ボックス	(1)非常照明用白熱灯組込器具（電源別置）には、一般用及び非常用位置ボックスを設けること。 (2)ケーブル配線で末端となる所及び送り端子接続のみの配線には、アウトレットボックスは設けなくてよい。 (3)耐火電線の接続部は、耐火処理を行う。											
	○分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C 8370「配線用遮断器」、同付属書5「電灯分電盤用協約形配線用遮断器」による。特記なき場合、分岐に用いる2種の配線用遮断器及び漏電遮断器は1種サイズのものとする。 また、分電盤主回路の導体には、サーモラベルを貼付すること。											
電 灯 設 備	○LED制御装置の種類	LED制御装置の種類・電圧は、標準図及びJIL5004-2018「公共施設用照明器具」（以下「JIL」という。）に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。 <table><tr><th>器具の種類</th><th>安定器の種類</th><th>電圧（V）</th></tr><tr><td rowspan="2">LED灯</td><td>LSR1、LSR2、LSR3、LPJ1</td><td>LJ ○100 ○200</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>LN ○100 ○200</td></tr><tr><td>避難口誘導灯・通路誘導灯</td><td>LN</td><td>100</td></tr></table> LED灯はユニバーサル電圧（100V～242V等）対応品でもよい。	器具の種類	安定器の種類	電圧（V）	LED灯	LSR1、LSR2、LSR3、LPJ1	LJ ○100 ○200	上記以外	LN ○100 ○200	避難口誘導灯・通路誘導灯	LN	100
器具の種類	安定器の種類	電圧（V）											
LED灯	LSR1、LSR2、LSR3、LPJ1	LJ ○100 ○200											
	上記以外	LN ○100 ○200											
避難口誘導灯・通路誘導灯	LN	100											
○LED照明器具の規格	LED制御照明器具の定格消費電力等の規定が標準図とJILで異なる場合、JILの規格を適用する。												
○一般照明の照度測定	○行う ○行わない												
○照明制御システム	調光センサー等 ○照明器具に内蔵（○熱線センサー ○初期照度補正機能） ○別置（図示による）（○熱線センサー ○あかりセンサー） 器具の取付け、その全数について総合動作試験を行うこと。なお、各種毎に専用設定器を納入すること。												
○白色LED	寿命は4万時間使用した状態で、全光束が点灯初期値の70％となるもの。												
○非常照明の形式	○電源内蔵形 ○電源別置形												
○遮断器	遮断容量は安全ブレーカーと特記ある場合は2500Aとする。												
●形式	●ボタン電話装置 ○電子交換機 ○IP-PBX ○VoIPサーバ												
○仕様詳細	図示による。なお、モジュラプラグ成端も本工事とする。												
○電線	○EM-IE ○EM-TIEF ○EM-TKEE ○EM-BTIEE												
構 内 交 換 設 備	○保安器用接地	本工事											
	○電話機	○本工事 ○別途工事											
	○電線	○EM-IE ○HIV ○EM-FOPEE ○EM-AE ○EM-HP											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
音 声 設 備	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
音 声 設 備	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
音 声 設 備	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
音 声 設 備	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
音 声 設 備	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
音 声 設 備	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
音 声 設 備	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
音 声 設 備	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
音 声 設 備	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
音 声 設 備	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
音 声 設 備	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
音 声 設 備	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
音 声 設 備	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ FM用は ○FMアンテナ（5素子）											
音 声 設 備	○増幅器	○下記による ○図示による 形 式 ○卓上形 ○キャビネット収納形 ○ラック組込形 定格出力 Hi型 W以上 付加機能 ○リモコン機能 ○コールサイン機能 ○モニター機能 用 途 ○一般放送用 ○非常放送用 ○ページング機能 ○時報等の自動放送は音量調節器を経由した回路とする。（一斉回路は使用しない）											
	○マイクロホン	○卓上形 ○ハンド形 1台 ○ワイヤレス形 1台											
	○スピーカ	図示による											
	○DVDプレーヤー	○卓上形 ○ラック組込形 ○ラックススペースのみ											
	○その他の機器	図示による											
	○アンテナ	AM用は ○AMホイップアンテナ											







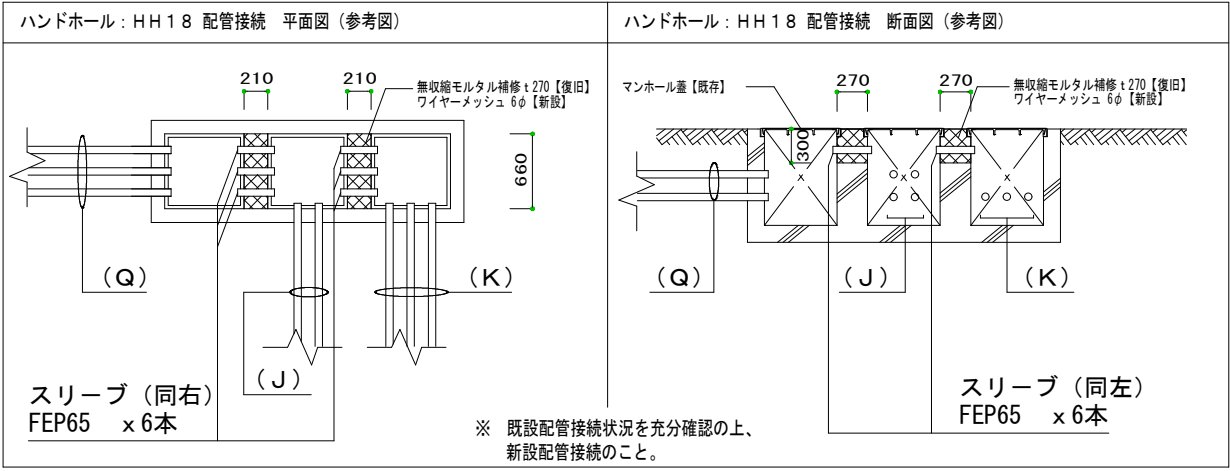
注 記

1. 図中 各区間 (A) ～ はE06幹線リスト (改修) ・E07幹線平面図 (改修) 図を参照のこと。
2. ケーブル切断は工事監督員立ち合いのもと実施すること。
3. 非常電話のケーブルを切断する際はインターホンの動作を確認すること。
4. その他の注記は幹線平面図 (改修) 図を参照のこと。
5. ハンドホール内の配線にはアクリルエッチングにて銘板を取り付けること。
6. 新設する予備配管には呼び線 (IV2.0) を入線のこと。
7. 道路内で工事をする期間中は交通誘導員を1日に3名配置すること。

凡 例

	ハンドホール (実線) : 新設	HH2-9・蓋600φ・耐荷重20ton
	ハンドホール (破線) : 既設	
	配管・配線 : 新設	
	配管・配線 : 既設	
☆	既設ハンドホール 配管接続貫通補修部分 (止水処理共)	
★	既設ケーブル, 新設ケーブル接続部分 (ケーブル接続材は防水・レジン注入式とする)	

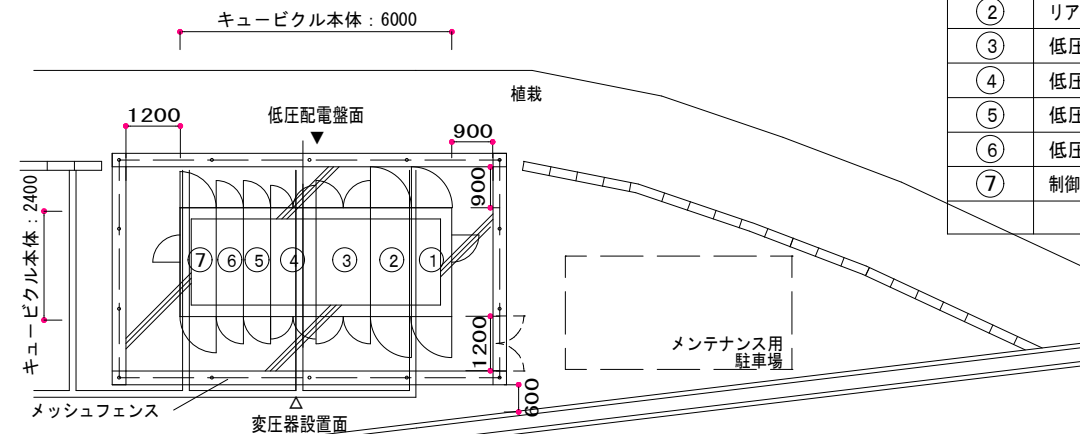
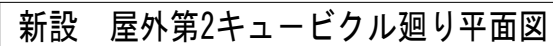
系統図 (改修)



配管配線リスト					
系統図・平面図 (改修)	ケーブル		配 管		行 先
(A)	① 6KV EM-CET38°	既設	(FEP65)	既設	高圧
	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
(B) 土工事掘削 本工事(手掘り)	① 6KV EM-CET38°	(新設)	(FEP80)	(新設)	高圧
	——G——	-	(FEP80)	(新設)	予備
(C)	——G——	-	(FEP65)	既設	予備
	——G——	-	(FEP65)	既設	予備
(D) 土工事掘削 本工事(機械堀)	E38° x 1	(新設)			EA, D
	E60° x 1	(新設)			EB
	E38° x 1	(新設)			EC
	E38° x 1	(新設)			ED (ELB)
	E5. 5° x 1	(新設)			Ep
	E5. 5° x 1	(新設)			Ec
アスファルト研り 補修は建築工事					
(E) 土工事掘削 本工事(手掘り)	② CV14° -3C	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	NoI予備電源盤 八天OP～モニメント仮設電源盤
	③ CV38° -3C	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	3φ3W440V 北及び北口休憩所
	④ EM-CET38°	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	3φ3W440V 八天の森OB-給水ポンプ場
	⑤ EM-CET60°	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP65)	(新設)	中央休憩所
	⑦: CVT38°	(新設)	(FEP50)	(新設)	池田土木気象観測設備
	⑧: CVT100°	(新設)	(FEP80)	(新設)	ドコモ基地局
	⑨: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	階段給水槽
	⑨-ア: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-イ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-ウ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-八天の森T/U盤
	⑩: CV22° -4C	(新設)	(FEP50)	(新設)	7区8区休憩所
	⑪: CV38° -4C	(新設)	(FEP65)	(新設)	5区6区休憩所
	⑫: CV22° -3C	(新設)	(FEP50)	(新設)	AC440V中央キュービクル-階段中継分電盤
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
(F) 土工事掘削 本工事(機械堀)	② CV14° -3C	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	NoI予備電源盤 八天OP～モニメント仮設電源盤
	③ CV38° -3C	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	3φ3W440V 北及び北口休憩所
	④ EM-CET38°	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP50)	(新設)	3φ3W440V 八天の森OB-給水ポンプ場
(G) 土工事掘削本工事 (機械堀) アスファルト研り 補修は建築工事	⑤ EM-CET60°	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	(FEP65)	(新設)	中央休憩所
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
(H) 土工事掘削 本工事(機械堀)	⑦: CVT38°	(新設)	(FEP50)	(新設)	池田土木気象観測設備
	⑧: CVT100°	(新設)	(FEP80)	(新設)	ドコモ基地局
	⑨: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	階段給水槽
	⑨-ア: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-イ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-ウ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-八天の森T/U盤
	⑩: CV22° -4C	(新設)	(FEP50)	(新設)	7区8区休憩所
	⑪: CV38° -4C	(新設)	(FEP65)	(新設)	5区6区休憩所
	⑫: CV22° -3C	(新設)	(FEP50)	(新設)	AC440V中央キュービクル-階段中継分電盤
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
	——G——		(FEP80)	(新設)	予備
(I)(手掘り) 土工事掘削本工事	⑧: CVT100°	(新設)	(FEP80)	(新設)	ドコモ基地局
(J) 土工事掘削本工事 (手掘り) アスファルト研り 補修は建築工事	⑨: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	階段給水槽
	⑨-ア: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-イ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-階段基域槽T/U盤
	⑨-ウ: CV3. 5° -2C	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御電源 中央キュービクル-八天の森T/U盤

配管配線リスト					
系統図・平面図 (改修)	ケーブル		配 管		行 先
(K) 土工事掘削本工事 (手掘り)	⑦: CVT38°	(新設)	(FEP50)	(新設)	池田土木気象観測設備
	⑫: CV22° -3C	(新設)	(FEP50)	(新設)	AC440V中央キュービクル-階段中継分電盤
	——G——	-	(FEP65)	(新設)	予備
アスファルト研り 補修は建築工事					
(L) 土工事掘削本工事 (手掘り)	⑩: CV22° -4C	(新設)	(FEP50)	(新設)	7区8区休憩所
	⑪: CV38° -4C	(新設)	(FEP65)	(新設)	5区6区休憩所
アスファルト研り 補修は建築工事					
	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(M)	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(N)	——G——	既設	(54)	既設	予備
	——G——	既設	(54)	既設	予備
(O)	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(P) 土工事掘削 本工事(機械堀)	⑥-1 L-4E5AT	(新設)	(FEP30)	(新設)	第208 - A3アンテナ
	⑥-2 VCT0. 75-4C	(新設)	同上管内	-	第208 - A3アンテナ
	エ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 管理事務所表示盤
	オ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	同上管内		水道管理制御 中継制御盤 - 階段中継動力盤
	カ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 階段基域槽T/U盤
	キ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	同上管内	-	水道管理制御 中継受水槽T/U盤 - 中継制御盤
	ク CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 八天の森T/U盤
	ケ CPEVS1. 2-5Pr	既設引抜きケーブルを新設配管に入線	同上管内	-	水道管理制御 中継受水槽T/U盤 - 中継制御盤
	——G——		(FEP50)	(新設)	予備
	——G——		(FEP50)	(新設)	予備
(Q) 土工事掘削 本工事(手掘り)	⑥-1 L-4E5AT	(新設)	(FEP30)	(新設)	第208 - A3アンテナ
	⑥-2 VCT0. 75-4C	(新設)	同上管内		第208 - A3アンテナ
	エ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 管理事務所表示盤
	オ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	同上管内		水道管理制御 中継制御盤 - 階段中継動力盤
	カ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 階段基域槽T/U盤
	キ CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	同上管内		水道管理制御 中継受水槽T/U盤 - 中継制御盤
	ク CPEVS1. 2-5Pr	(新設)	(FEP30)	(新設)	水道管理制御 中継制御盤 - 八天の森T/U盤
	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(R)	——G——	既設	(FEP65)	既設	予備
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(S)	⑤ EM-CET60°	既設	(FEP65)	既設	中央休憩所
	——G——	既設	(FEP80)	既設	予備
(T)	⑩: CV22° -4C	既設	(H1VP100)	既設	7区8区休憩所
	⑪: CV38° -4C	(新設)	(H1VP100)	既設	5区6区休憩所

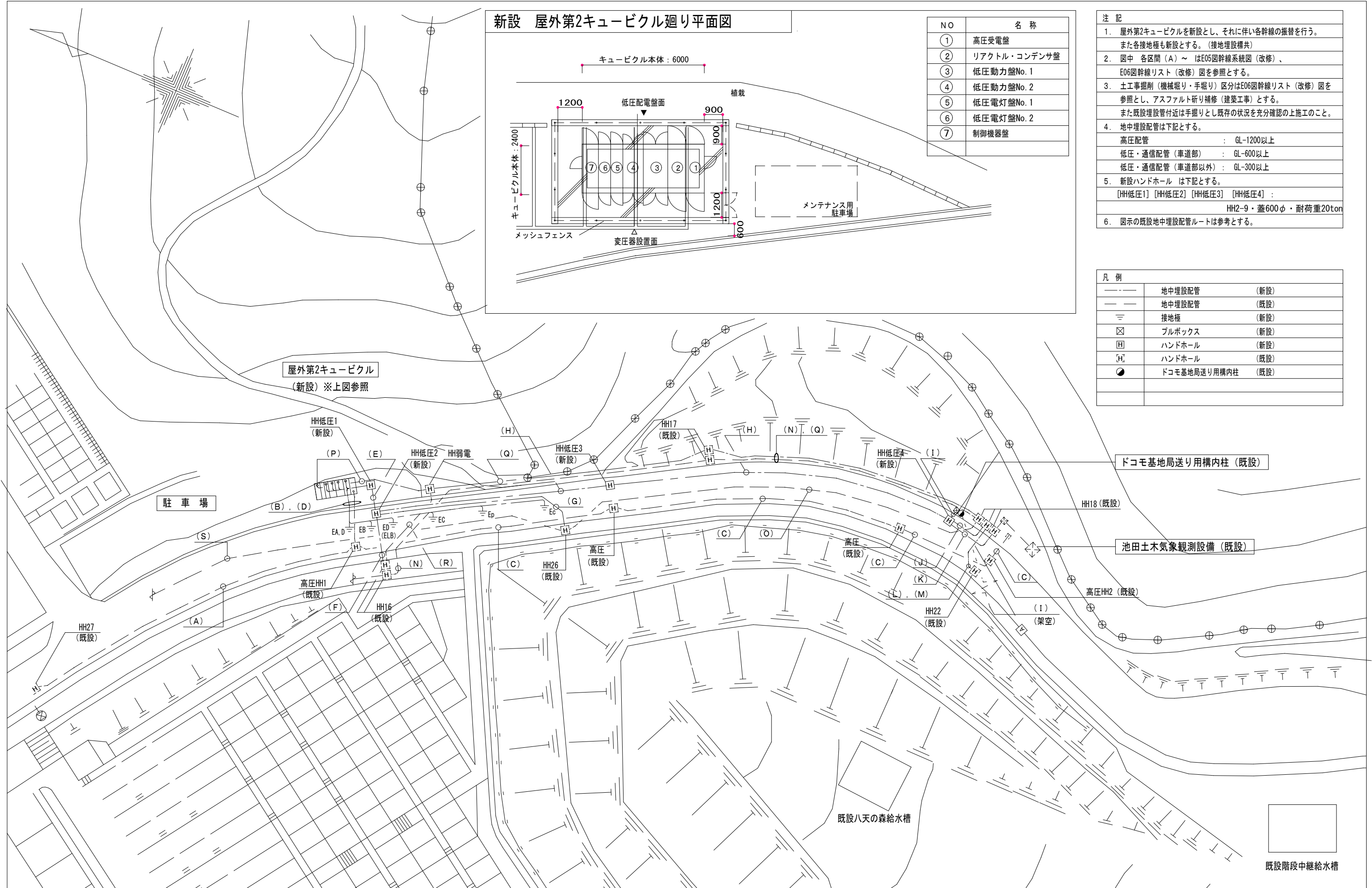




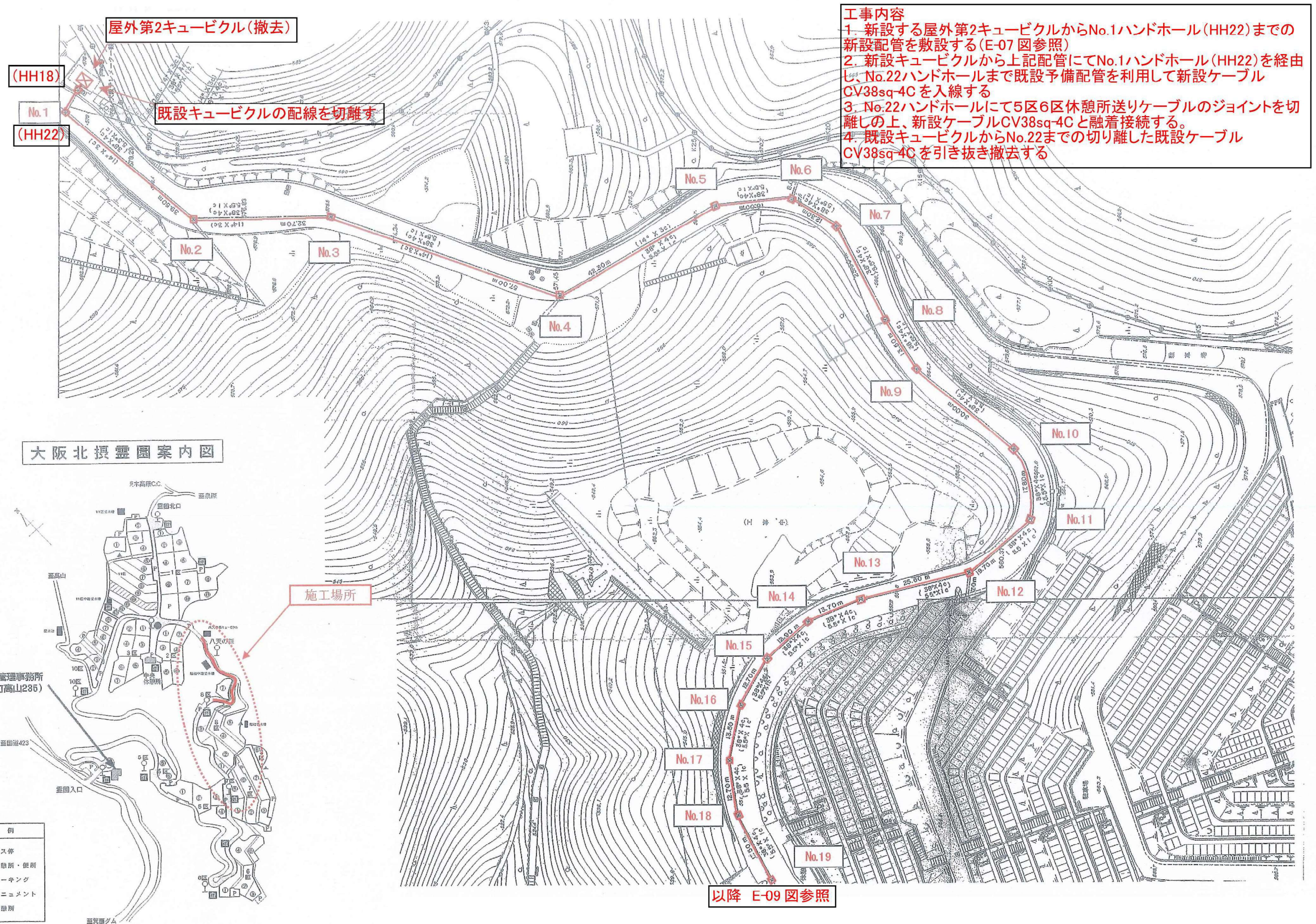
N O	名 称
①	高圧受電盤
②	リアクトル・コンデンサ盤
③	低圧動力盤No. 1
④	低圧動力盤No. 2
⑤	低圧電灯盤No. 1
⑥	低圧電灯盤No. 2
⑦	制御機器盤

- |  |
|--|
| 注 記  |
| 1. 屋外第2キュービクルを新設とし、それに伴い各幹線の振替を行う。<br>また各接地極も新設とする。（接地埋設確か）  |
| 2. 図中 各区間（A）～ はE05図幹線系統図（改修）、<br>E06図幹線リスト（改修）図を参照とする。   |
| 3. 土工事掘削（機械堀り・手堀り）区分はE06図幹線リスト（改修）図を<br>参照とし、アスファルトすり補修（建築工事）とする。<br>また既設埋設管付近は手掘りとし既存の状況を充分確認の上施工のこと。   |
| 4. 地中埋設配管は下記とする。<br><br>高圧配管                                 ： GL-1200以上<br>低圧・通信配管（車道部）          ： GL-600以上<br>低圧・通信配管（車道部以外）      ： GL-300以上 |
| 5. 新設ハンドホール は下記とする。<br>[HH低圧1] [HH低圧2] [HH低圧3] [HH低圧4]   ：   |
| HHZ-9・蓋600φ・耐荷重20ton   |
| 6. 図示の既設地中埋設配管ルートは参考とする。   |

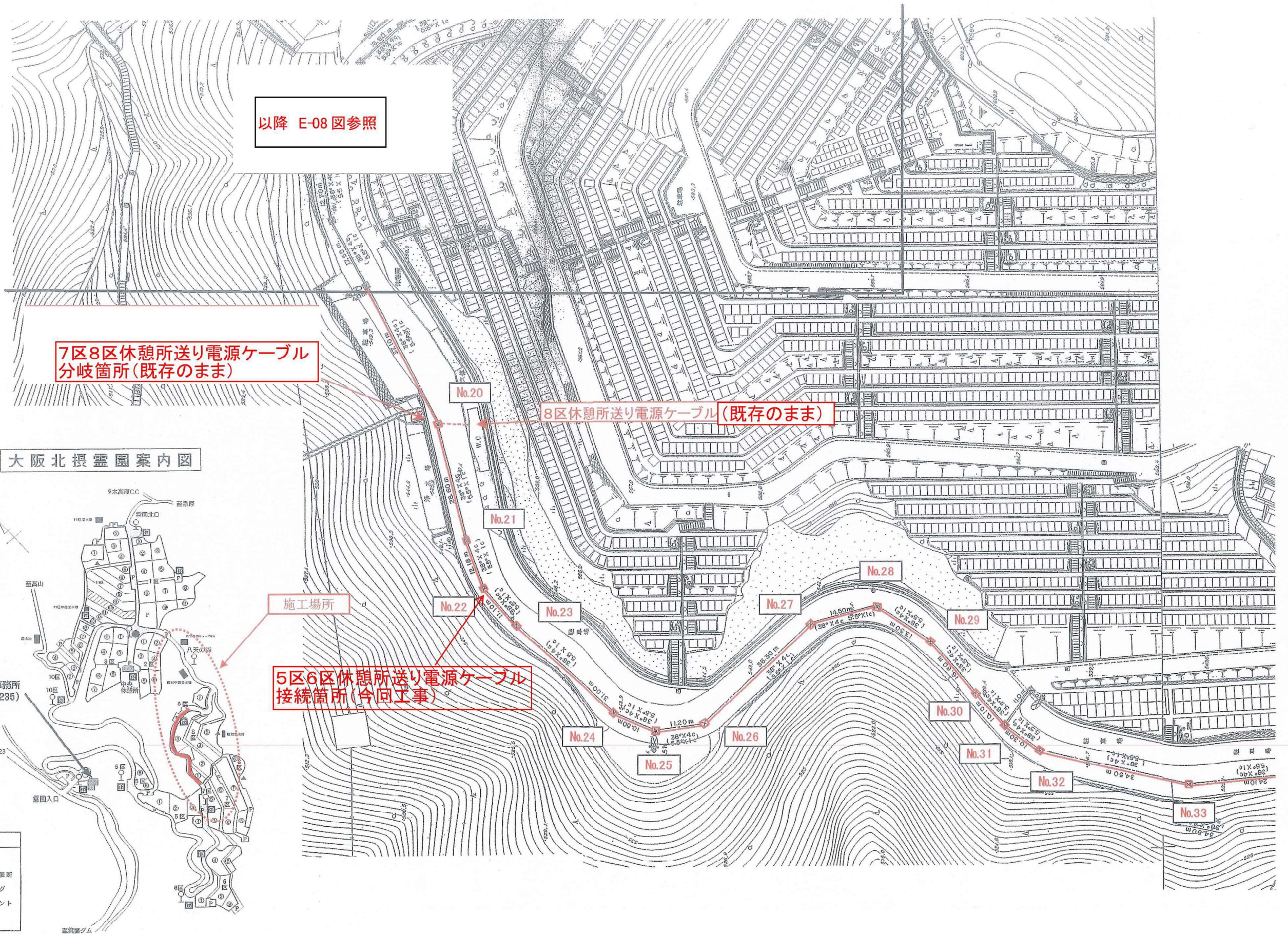
凡 例	
—— —	地中埋設配管 (新設)
—— —	地中埋設配管 (既設)
≡	接地極 (新設)
☒	ブルボックス (新設)
⌋	ハンドホール (新設)
⌋	ハンドホール (既設)
●	ドコモ基地局送り用構内柱 (既設)





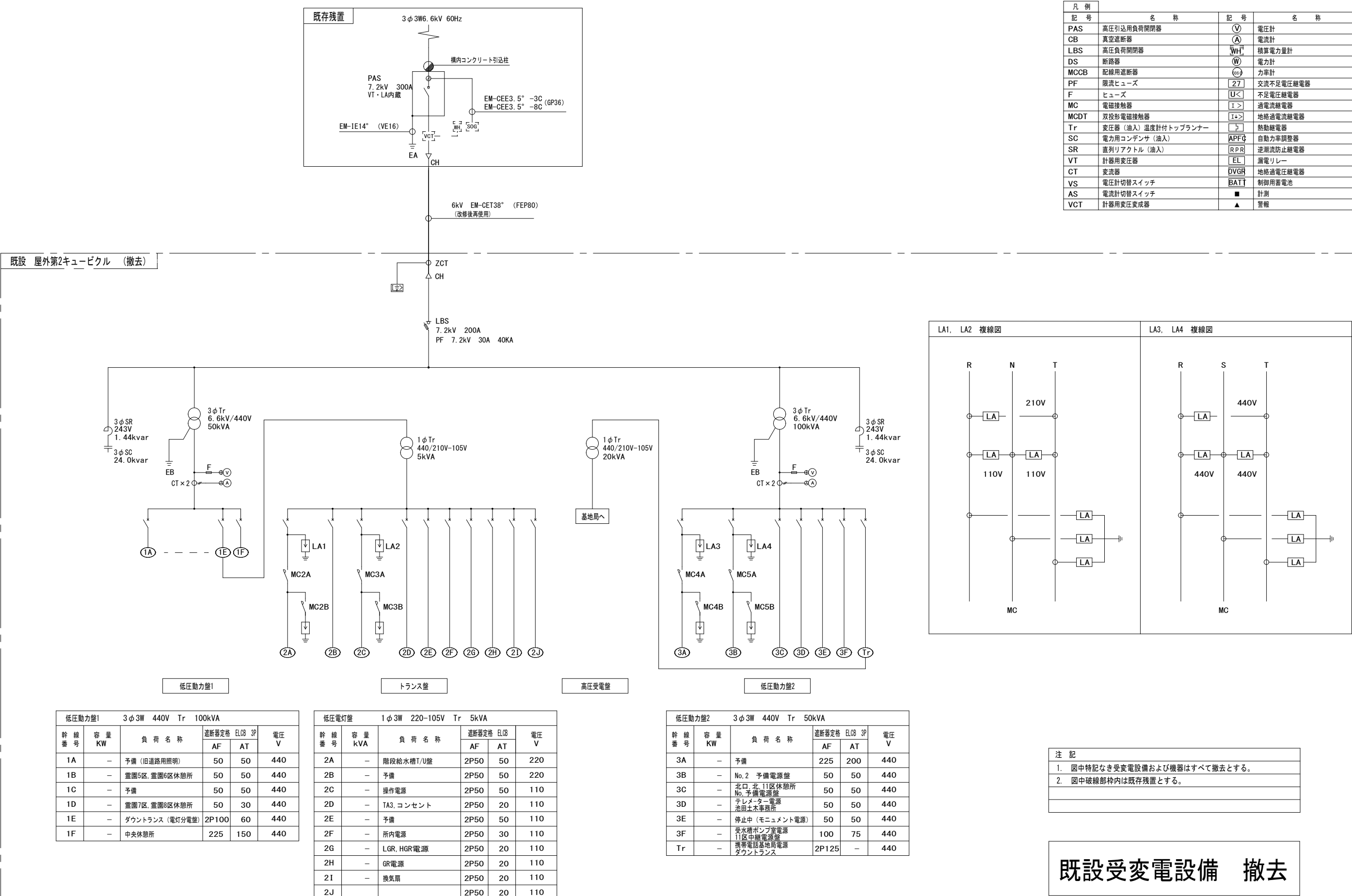




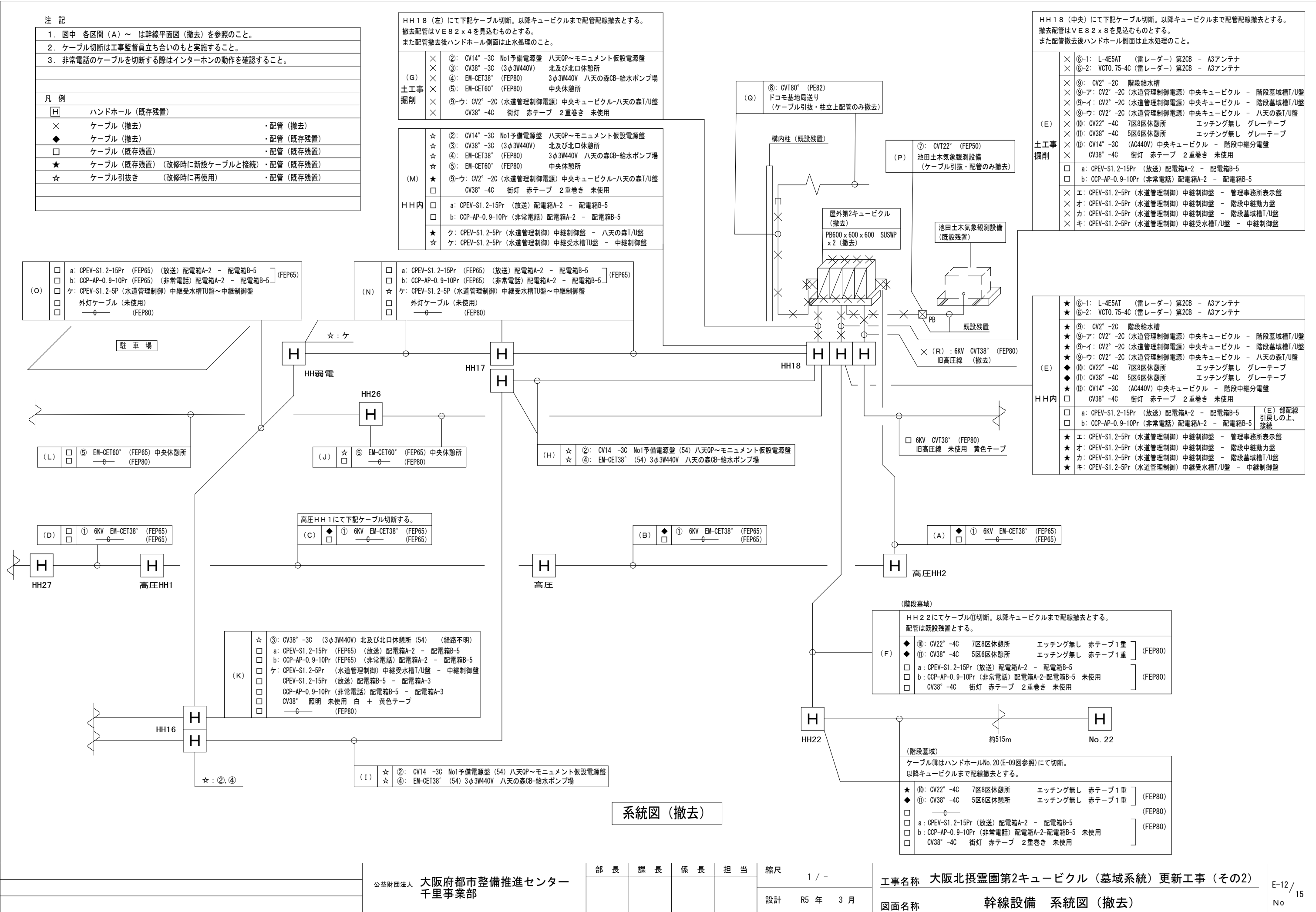




凡 例			
記 号	名 称	記 号	名 称
PAS	高压引込用負荷開閉器	Ⓥ	電圧計
CB	真空遮断器	Ⓐ	電流計
LBS	高压負荷開閉器	Ⓜ	積算電力量計
DS	断路器	Ⓜ	電力計
MCCB	配線用遮断器	Ⓜ	力率計
PF	限流ヒューズ	27	交流不足電圧継電器
F	ヒューズ	U<	不足電圧継電器
MC	電磁接触器	I>	過電流継電器
MCDT	双投形電磁接触器	I>	地絡過電流継電器
Tr	変圧器（油入）温度計付トッランナー	Ⓜ	熱動継電器
SC	電力用コンデンサ（油入）	APFC	自動力率調整器
SR	直列リアクトル（油入）	RPR	逆潮流防止継電器
VT	計器用変圧器	EL	漏電リレー
CT	変流器	DVGR	地絡過電圧継電器
VS	電圧計切替スイッチ	BAT	制御用蓄電池
AS	電流計切替スイッチ	■	計測
VCT	計器用変圧変成器	▲	警報







HH22

No. 22

約515m

(F)

★

⑩: CV22° -4C 7区8区休憩所 エッチング無し 赤テープ1重

◆

⑪: CV38° -4C 5区6区休憩所 エッチング無し 赤テープ1重

□

a: CPEV-S1.2-15Pr (放送) 配電箱A-2 - 配電箱B-5

□

b: CCP-AP-0.9-10Pr (非常電話) 配電箱A-2-配電箱B-5 未使用

□

CV38° -4C 街灯 赤テープ 2重巻き 未使用

HH2 2にてケーブル⑩切断。以降キュービクルまで配線撤去とする。  
配管は既設残置とする。

(K)

☆

③: CV38° -3C (3φ3W440V) 北及び北口休憩所 (54) (経路不明)

□

a: CPEV-S1.2-15Pr (FEP65) (放送) 配電箱A-2 - 配電箱B-5

□

b: CCP-AP-0.9-10Pr (FEP65) (非常電話) 配電箱A-2 - 配電箱B-5

□

ケ: CPEV-S1.2-5Pr (水道管理制御) 中継受水槽T/U盤 - 中継制御盤

□

CPEV-S1.2-15Pr (放送) 配電箱B-5 - 配電箱A-3

□

CCP-AP-0.9-10Pr (非常電話) 配電箱B-5 - 配電箱A-3

□

CV38° 照明 未使用 白 + 黄色テープ

□

——— (FEP80)

HH16

☆: ②, ④

(1)

☆

②: CV14 -3C No1予備電源盤 (54) 八天QP～モニュメント仮設電源盤

☆

④: EM-CET38° (54) 3φ3W440V 八天の森CB-給水ポンプ場

HH17

HH18

(H)

☆

②: CV14 -3C No1予備電源盤 (54) 八天QP～モニュメント仮設電源盤

☆

④: EM-CET38° (54) 3φ3W440V 八天の森CB-給水ポンプ場

HH1 8 (右) にて下記ケーブル切断。以降キュービクルまで配管配線撤去とする。  
撤去配管はVE 8 2 × 4 を見込むものとする。  
また配管撤去後ハンドホール側面は止水処理のこと。

(Q)

⑧: CVT80° (PE82) ドコモ基地局送り (ケーブル引抜・柱上配管のみ撤去)

構内柱 (既設残置)

屋外第2キュービクル (撤去) PB600 × 600 × 600 SUSWP × 2 (撤去)

池田土木気象観測設備 (既設残置)

池田土木気象観測設備 (既設残置)

× (R): 6KV CVT38° (FEP80) 旧高圧線 (撤去)

□ 6KV CVT38° (FEP80) 旧高圧線 未使用 黄色テープ

系統図 (撤去)

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター 千里事業部

部 長

課 長

係 長

担 当

縮尺 1 / -

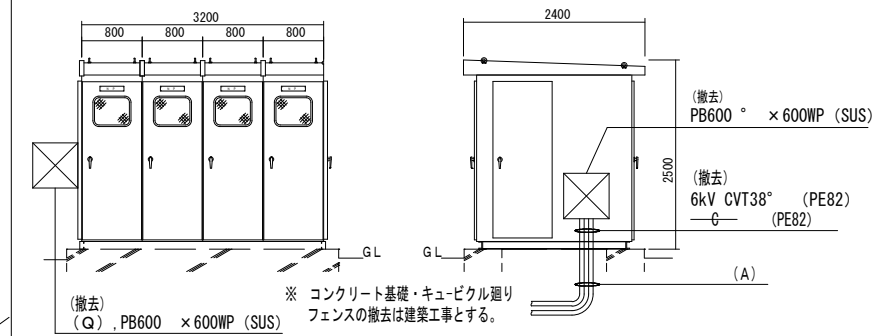
設計 R5 年 3 月

工事名称 大阪北摂霊園第2キュービクル (墓域系統) 更新工事 (その2)

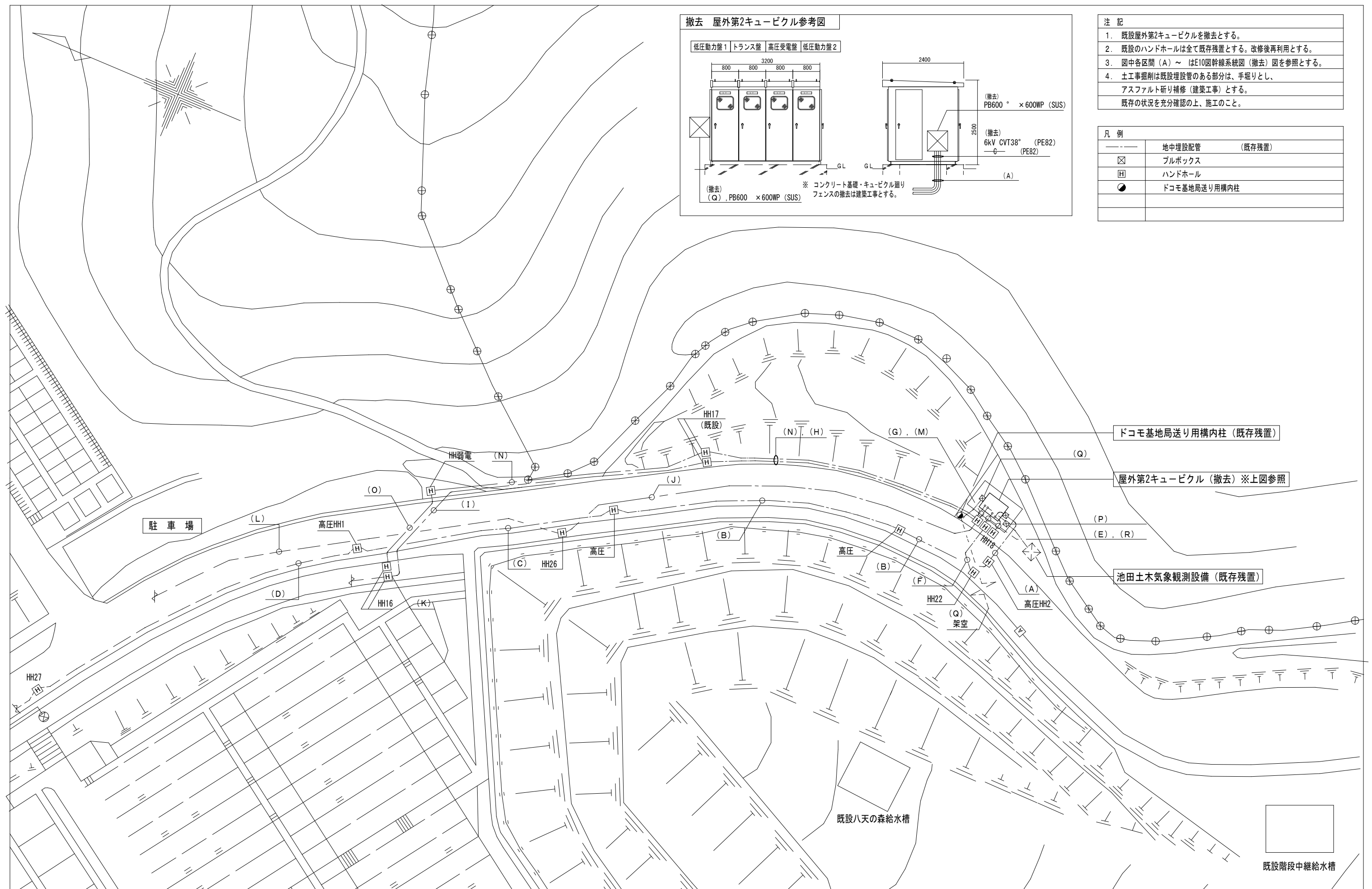
図面名称 幹線設備 系統図 (撤去)

E-12 / 15

No



- | 凡 例                                 |               |
|-------------------------------------|---------------|
| —— ———                              | 地中埋設配管 (既存残置) |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ブルボックス        |
| [H]                                 | ハンドホール        |
|                                     | ドコモ基地局送り用構内柱  |
|                                     |               |
|                                     |               |





ブルボックスの形式及び鋼材表

ブルボックスの形式

ボックス鋼材表

長辺の長さ	鋼板の厚さ	補強材の大きさ	3つ以上の厚さ	補強材の大きさ	補強位置
450未満	1.6	—	1.2	—	—
450以上 800未満	2.0	—	1.5	—	—
800以上 1000未満	2.0	L-30×30×3t	1.5	L-30×30×2t	全面補強
1000以上	2.0	L-40×40×3t	1.5	L-40×40×2t	#

注

- プレート長辺が800以上で短辺が600を超える場合はプレート面を2分割する。
- プレート長辺が1000以上の場合はプレート面を2分割し、カバー止め補強をする。
- プレート長辺が450 以上の場合は脱着防止チェーンを設ける。
- プレート長辺が450 以上のものについては電線支持用金物を設ける。
- 用途名称を記入すること。
- (イ)露出部分にはアクリエッチング、ステンレス止め(40×100×2t)
- (ロ)接地端子及びつり受けはブルボックスの接地端子及びつり受けによる。
- 屋外部分は水抜き穴(対角2ヶ所 φ5.0mm)を設けること。

ブルボックスの寸法表

ブルボックスの寸法表

形状	鋼板	ステンレス
(t)	(t)	(t)
100×100×75	1.2	1.2
100×100×75	1.6	1.2
100×100×100	1.6	1.2
150×150×100	1.6	1.2
150×150×150	1.6	1.2
200×100×100	1.6	1.2
200×200×100	1.6	1.2
200×200×150	1.6	1.2
200×200×200	1.6	1.2
250×250×100	1.6	1.2
250×250×150	1.6	1.2
250×250×200	1.6	1.2
250×250×250	1.6	1.2
300×100×100	1.6	1.2
300×200×100	1.6	1.2
300×200×150	1.6	1.2
300×200×200	1.6	1.2
300×300×100	1.6	1.2
300×300×150	1.6	1.2
300×300×200	1.6	1.2
300×300×300	1.6	1.2
350×350×200	1.6	1.2
400×300×200	1.6	1.2

注

- WPの表示は防水形とする。
- 板厚については、同表値以上とする。

ブルボックスと電線管の接地

注

- ブルボックスの負側側は電線管全部に一括ボンディングを行う。
- 電線側は管路の最大管径の電線管1本だけでよい。
- 無半田接続材を使用すること。

ブルボックスの構造

長辺の長さ 450未満

鋼板 1.6t  
補強材 —  
止めねじ M5  
止め間隔 350以下

長辺の長さ 450以上800未満

鋼板 2.0t  
補強材 —  
止めねじ M6  
止め間隔 350以下

長辺の長さ 800以上1000未満

鋼板 2.0t  
補強材 L-30×30×3t  
FB30×3t  
止めねじ M6  
止め間隔 350以下

長辺の長さ 1000以上

鋼板 2.0t  
補強材 L-40×40×3t  
FB40×3t  
止めねじ M6  
止め間隔 350以下

名 称 板

主開閉器用名称板

分岐開閉器名称板

ケーブル用

注

- 材質は、アクリライト板とする。
- 止めねじは、2.0～2.3mm真鍮製とする。
- 人が容易に触れる場所に設置する場合は面取りを施すこと。

ブルボックスのプレート止め (但し、VEボックスは標準品とする。)

800未満のもの

800以上のもの

注

- 露出部分にインベール形
- インベール形
- 防水形

ブルボックスの接地端子及びつり受け

接地端子

つり受け

注

- 4隅に設ける。
- 長辺250以下の場合は、2隅でもよいものとし、現場加工としてよい。

接 地

接 地 極

注

- 接地鉄筋は鋼土交通管仕様とする。
- 接地極は、相互に0.5m以上離すこと。

旋及びハンドル

右使用時

左使用時

旋

防水キャップ

ハンドル (タキゲン A-120-2仕様)

防水ゴム

部 番 品 名

1	本 体
2	固定ピン
3	受 座
4	リングワッシャー
5	六角ナット
6	スプリング
7	角度ストッパー
8	スベーク
9	平 座 金
10	六角ボルト
11	ばね座金

公益財団法人 大阪府都市整備推進センター  
千里事業部

部 長

課 長

係 長

担 当

縮尺

1 / -

設計

R5 年 3 月

工事名称

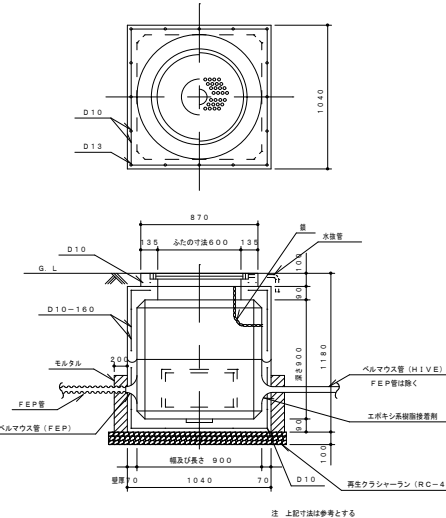
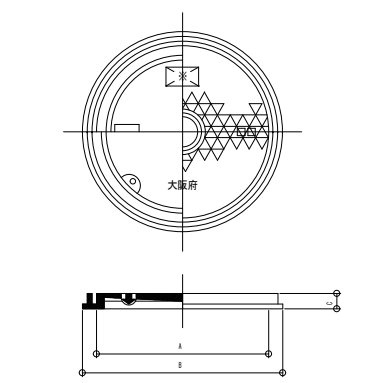
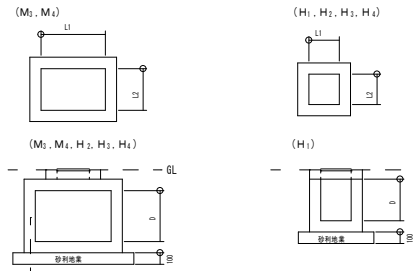
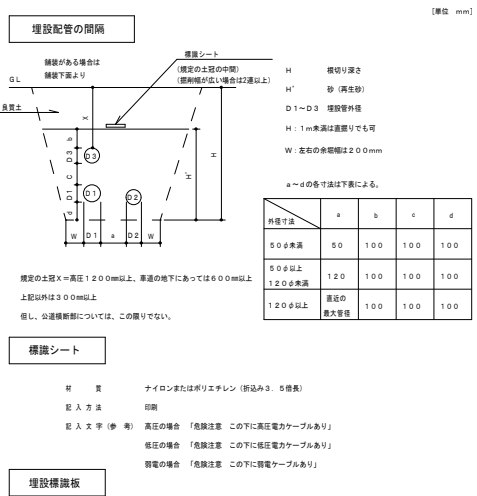
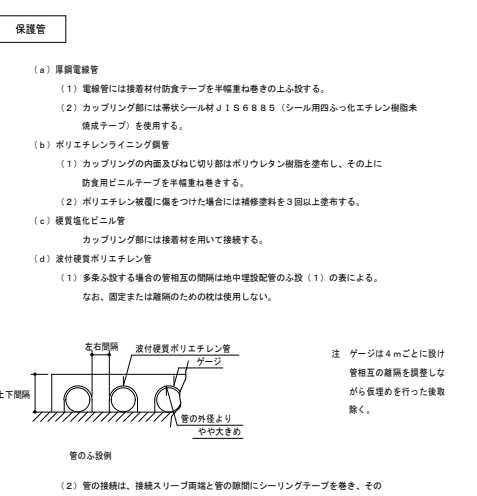
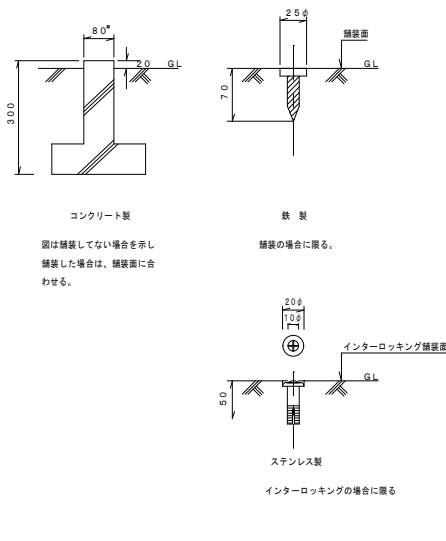
大阪北摂霊園第2キュービクル（墓域系統）更新工事（その2）

図面名称

標準施工図（1）

E-14 / 15

No

<div>ブロックハンドホール</div> <div></div> <div>注 (1) ブロックハンドホールのコンクリート設計基準強度は材齢28日以内(高気養生14日以上)で、圧縮強度21N/mm<sup>2</sup>以上とし、スランプ8cm以下とする。 (2) ブロックハンドホールの図は、2分割形を示すが、多分割形でもよい。 (3) ブロックハンドホールのコンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。 (4) 突出し管はベルマウス管(HIVE)とし、エポキシ系樹脂接着剤で防水処理をし、外部よりルタル補強をする。 (5) FEP管の場合は、専用のベルマウスを使用のこと。</div>	<div>ブロックハンドホールの鉄ふた</div> <div></div> <div>注 (1) 特記ない限り防水鋼鉄製でR8K-60とする。 (2) 枠とふたをくさりで連結する。 (3) ふたの模様は一例を示す。 (4) ふたはリブなしを示すがリブ付でもよい。 (5) ふたは文字入りとする。(挿入図し込み) ※ ① 電力(低圧) ② 電力(高圧) ③ 電話 ④ 弱電</div>	<div>ブロックハンドホールの寸法表</div> <table><tr><th rowspan="2">記号</th><th colspan="3">有効寸法(内部)</th><th colspan="2">構造体標準厚さ</th></tr><tr><th>L1</th><th>L2</th><th>D</th><th>側面</th><th>底面</th></tr><tr><td rowspan="6">ハンドホール</td><td>H-1-6</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>60</td><td>80</td></tr><tr><td>H-1-8</td><td>600</td><td>600</td><td>900</td><td>60</td><td>80</td></tr><tr><td>H-2-6</td><td>900</td><td>900</td><td>600</td><td>70</td><td>90</td></tr><tr><td>H-2-8</td><td>900</td><td>900</td><td>900</td><td>70</td><td>90</td></tr><tr><td>H-2-12</td><td>900</td><td>900</td><td>1,200</td><td>70</td><td>90</td></tr><tr><td>H-3-12</td><td>1,200</td><td>1,200</td><td>1,200</td><td>80</td><td>90</td></tr><tr><td rowspan="2">マンホール</td><td>H-4-15</td><td>1,500</td><td>1,500</td><td>1,500</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>H-4</td><td>1,800</td><td>1,000</td><td>1,500</td><td>150</td><td>200</td></tr><tr><td></td><td>H-4</td><td>2,300</td><td>1,300</td><td>1,500</td><td>150</td><td>200</td></tr></table> <div>(注) L1、L2は、±5%以内、Dは最小値とする。</div> <div></div> <div>(注) 図は、各部の寸法を示すためのもので、形状を指定するものではない。</div> <div>【備考】 1 図は、一例を示す。 2 図は、図示の矢印を表示する。矢印の色は、電力用は赤、通信用は黄とする。</div>	記号	有効寸法(内部)			構造体標準厚さ		L1	L2	D	側面	底面	ハンドホール	H-1-6	600	600	600	60	80	H-1-8	600	600	900	60	80	H-2-6	900	900	600	70	90	H-2-8	900	900	900	70	90	H-2-12	900	900	1,200	70	90	H-3-12	1,200	1,200	1,200	80	90	マンホール	H-4-15	1,500	1,500	1,500	100	100	H-4	1,800	1,000	1,500	150	200		H-4	2,300	1,300	1,500	150	200	<div>地中埋設配管のふ設(1)</div> <div></div> <div>埋設配管の規格</div> <table><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr></table> <div>埋設配管の規格</div> <table><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr></table>	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	<div>地中埋設配管のふ設(2)</div> <div></div> <div>埋設配管の規格</div> <table><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr></table> <div>埋設配管の規格</div> <table><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th><th>規格</th></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr><tr><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td><td>規格</td></tr></table>	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格	規格
記号	有効寸法(内部)			構造体標準厚さ																																																																																																																																																				
	L1	L2	D	側面	底面																																																																																																																																																			
ハンドホール	H-1-6	600	600	600	60	80																																																																																																																																																		
	H-1-8	600	600	900	60	80																																																																																																																																																		
	H-2-6	900	900	600	70	90																																																																																																																																																		
	H-2-8	900	900	900	70	90																																																																																																																																																		
	H-2-12	900	900	1,200	70	90																																																																																																																																																		
	H-3-12	1,200	1,200	1,200	80	90																																																																																																																																																		
マンホール	H-4-15	1,500	1,500	1,500	100	100																																																																																																																																																		
	H-4	1,800	1,000	1,500	150	200																																																																																																																																																		
	H-4	2,300	1,300	1,500	150	200																																																																																																																																																		
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
規格	規格	規格	規格	規格																																																																																																																																																				
<div>埋設標</div> <div></div> <div>注 (1) 図は、一例を示す。 (2) 図は、図示の矢印を表示する。矢印の色は、電力用は赤、通信用は黄とする。</div>																																																																																																																																																								